2023年４月１日更新

**モニタリングサイト1000里地調査**

様式４

**中・大型哺乳類調査　調査講習会免除申請書**

年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| サイト番号 |  |
| 調査グループ名 |  |
| 調査担当者名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 調査講習会の  免除理由  （該当するものすべてに〇） | 1. マニュアル・動画により新機種の扱いを理解した 2. すでにモニ1000里地調査で哺乳類調査を経験している （旧機種Fieldnote DUO（2013年度～）） 3. すでにLtl-6210WMC（第5期～）を経験している 4. 上記カメラ以外の機種で哺乳類の調査を経験している   （機種名：　　　　　　　　　　　　　　　　　）   1. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 調査経験年数 | 年 |
| 調査マニュアルの 熟読・動画の視聴 | あり　　・　　なし   * 必ず裏面の「新機種の操作方法の確認」へもチェックをお願いします。 |
| （任意）  今までの調査実績 | （学会・研究会などでの発表実績、作成した報告書や論文等を記入） |
| 備考 |  |

* （任意）調査実績を証明する資料（学会発表の講演要旨や報告書、論文など）があれば、本免除申請に添付して下記の連絡先へお送りください。
* 今回調査講習会が免除されても実際にデータを確認後、必要があれば調査講習会の受講をお願いする場合があります。

提出先

|  |
| --- |
| 公益財団法人 日本自然保護協会  モニタリングサイト1000里地調査事務局  〒104－0033　東京都中央区新川1－16－10　ミトヨビル2F  TEL：03－3553－4101 　FAX：03－3553－0139  E－mail：moni1000satochi◎nacsj.or.jp（送信の際には◎を＠に変えてください。） |

**Ltl-6210WMCおよびLtl-Acorn 6310Wの操作方法の確認**

調査マニュアル（巻末付属の操作マニュアルも含む）の熟読および調査手法動画の視聴を行った上で、以下の項目について理解しましたらチェック（☑）をお願いします。

**１．調査時期と調査体制**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目 | チェック |
| １ | 調査期間は全国的な比較が可能な、落葉広葉樹林の展葉後～落葉前にあたる５月から 10月頃までを基本とします。 |  |
| ２ | 今後、調査担当者を変更するときには、新担当者にも調査マニュアル（巻末付属の操作マニュアルも含む）の熟読および調査手法動画の視聴を行っていただき、現場の引き継ぎを確実にしてください。 |  |
| ３ | カメラが故障した場合は、「様式6\_故障・破損・紛失届」に症状を記載し、速やかに事務局まで送ってください。 |  |

**２．センサーカメラの取り扱い、設定**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目 | チェック |
| １ | センサーカメラは精密機器です。落としたり、ぶつけたりしないよう丁寧に扱ってください（カメラは修理ができません）。 |  |
| ２ | 底カバー付近に糸くず・砂などのゴミがついていると内部に湿気が入り故障の原因になるため、電池やSDカードの交換、カメラの設定など蓋を開けて実施する作業は、湿度の高い場所や埃っぽい場所は避け、原則として室内の乾燥した場所で行ってください。 |  |
| ３ | 電池は毎回フル充電してください。 |  |
| ４ | カメラの設定は、電池とSDカードの挿入の後で行ってください。 |  |
| ５ | 設定の際には、電源スイッチを「TEST」に動かして起動してください。 |  |
| ６ | カメラの設定を変更した際には、項目毎にOKボタンを押してください。押さないと設定変更が反映されません。 |  |
| ７ | 電池を交換した際には日時の再度設定を行ってください。電池を抜くと日時などの設定がリセットされます。 |  |
| ８ | 設定は、撮影モードをCamera（静止画）、インターバル2分、センサー感度Normal（中感度）、Time Stamp（日時の写し込み）をOnにしてください。 |  |
| ９ | 底カバーを閉める際には、金具を引っかかりより奥まで移動させてから閉じてください。 |  |

**３．センサーカメラの設置**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目 | チェック |
| １ | 雨の日や霧の濃い日にはカメラの設置は行わないでください。 |  |
| ２ | 立ち木等を利用して、カメラを地上高１～１．５mの高さにベルトで固定してください。 |  |
| ３ | 獣道から約３～５ｍ離れた位置から獣道が写るようにカメラ裏のベルトに落ちている枝などを挟み、カメラの角度を調整してください（地面が写るようにやや下向きにする）。 |  |
| ４ | カメラは獣道に対して直角になるように仕掛けてください。 |  |
| ５ | 撮影範囲内には陽だまりが生じない位置に設定してください（センサーが陽だまりに反応してしまうため）。 |  |
| ６ | ベルトの余りは、カメラに映りこまないように、木に巻きつけて結ぶなどして固定してください。 |  |
| ７ | カメラの設置完了後スイッチをONにしてください。正面のLEDが赤く点滅した後、撮影が開始されることを確認してください。 |  |
| ８ | 調査期間を記録するため、カメラをONにした後、最初にサイト名、地点名、日付、時間を書いた紙と、担当者の姿を撮影してください。 |  |
| ９ | 湿気による故障を防ぐために、屋外で底カバーを開ける際には、なるべく短時間で操作を済ませてください。 |  |

**４．センサーカメラの回収メンテナンス**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目 | チェック |
| １ | 約１ヶ月後にカメラの回収を行います。回収の際には、カメラが終了しているかどうか手をかざして確認し、調査の終了時間を写真に記録してください。 |  |
| ２ | スイッチをOFFにして室内に持ち帰ってください。（湿気が内部に入らないように、底カバーを開ける際には、なるべく短時間で操作してください。） |  |
| ３ | 室内にカメラを持ち帰ったら、乾燥した環境で清潔な手で、カメラに付着した水分やゴミを乾いた布などでよく落とし、SDカードと電池を抜いてください。 |  |
| ４ | SDカード等を取り出した後、結露対策として５日以上室内で乾燥させてください。 |  |
| ５ | SDカード内の写真は、設置地点ごとにフォルダを分けて保存してください。 |  |
| ６ | 設置地点ごとのフォルダ名は以下のように統一してください。  例）　S999のサイトで2019年7月10日から地点Ａで撮影を開始した写真データの場合　フォルダ名を「S999\_190710\_A」とする |  |
| ７ | 前回の回収から１ヶ月ほど期間をおいてから、再度カメラを野外に設置します。  設置の前に、毎回SD カード内の写真はすべて消去してください。 |  |

**５．データ入力から提出**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目 | チェック |
| １ | 調査結果は専用の入力用フォームを利用し、調査マニュアルに沿って記入してください。同定対象種と入力する標準和名・分類群名については、調査マニュアルの６ページの表に従ってください。 |  |
| ２ | 種の同定は、同定が確実な中・大型哺乳類に限って行います。鳥類や他の動物、撮影ミスなどの写真の同定は、分かる範囲で結構です。（写真はすべて事務局までお送りください）。 |  |
| ３ | 特定外来生物が初めて確認された場合には、速やかに事務局にご報告ください。 |  |
| ４ | カメラの故障や天候不良等で、地点ごとや一定期間にデータが欠落した場合は、全体備考に記入してください。 |  |
| ５ | 提出物は、写真データ一式、結果を入力した入力用フォーム（エクセル）、カメラ設置点を記入した地図（年１回）です。 |  |
| ６ | データの提出の期限は、８月末（５～７月分）と１月末（８～10月分）です。写真は事務局指定のBoxフォルダへアップロード、データを書き込んだ CD-R の郵送、Box以外のオンラインストレージ等で提出してください。データは提出期限までに遅れないようにしてください。 |  |

以上